



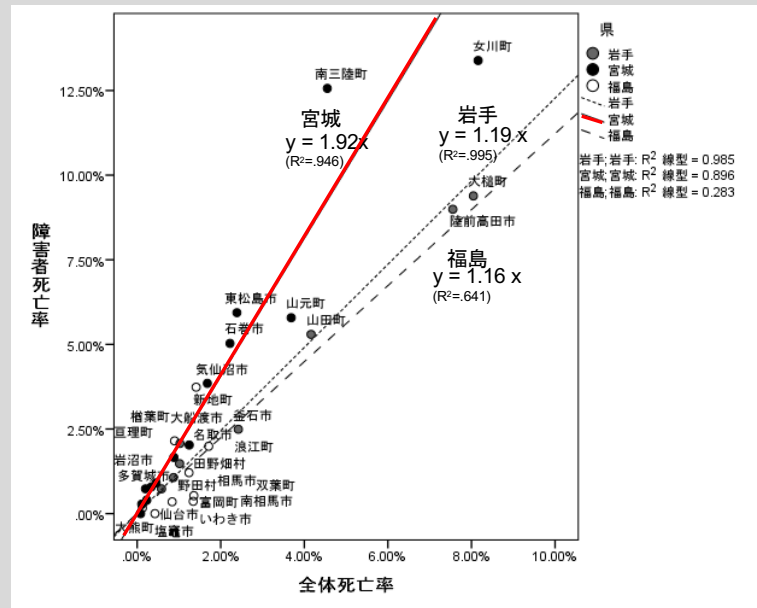
小田川の決壊で水に覆われた真備町地区。奥は高梁川＝岡山県倉敷市で2018年7月7日、本社ヘリから加古信志撮影 <https://mainichi.jp/articles/20180722/k00/00m/040/106000c>

# 高齢者、障がい者と 東日本大震災

統計資料から見えてきたこと

- 立木茂雄(2016). 災害と復興の社会学, 3章, 萌書房, 35-49.
- 立木茂雄(2017). 近年の自然災害から見た入所要配慮者被害の問題と対策－平時と災害時の連携ならびに立地規制の2つの欠如が被害を生んでいる－, 消防防災の科学, 129, 2017年夏号, 11-14

# 東日本大震災における全体死亡率と 障害者死亡率の比較(市町村別)



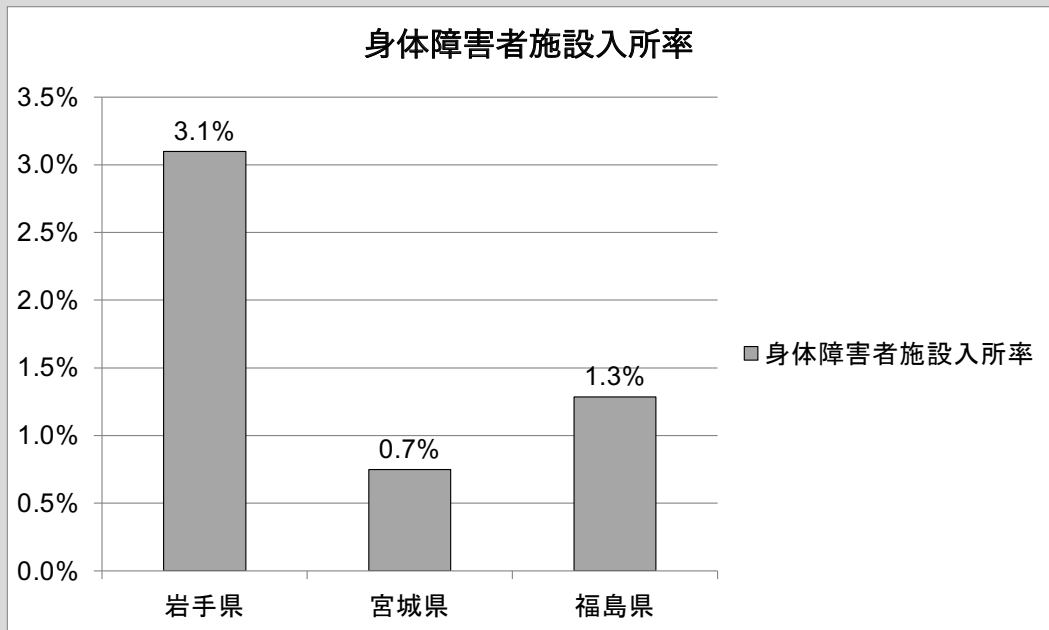
5

なぜ宮城県で障がい者がより多く  
亡くなったのか？

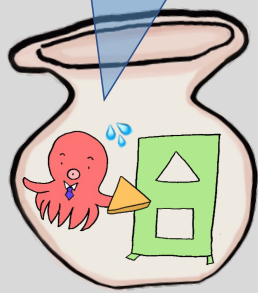
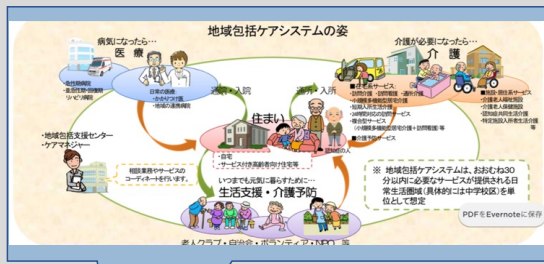
在宅の障がい者の割合

6

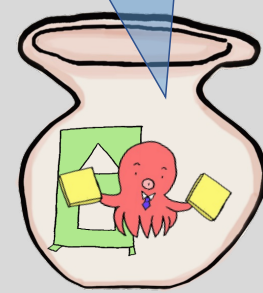
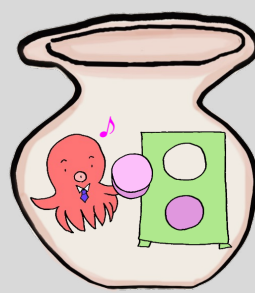
# 東北3県の身体障害者の施設入所率の比較



## 根本原因 #1：平時と災害時の対応策が縦割り



福祉部局



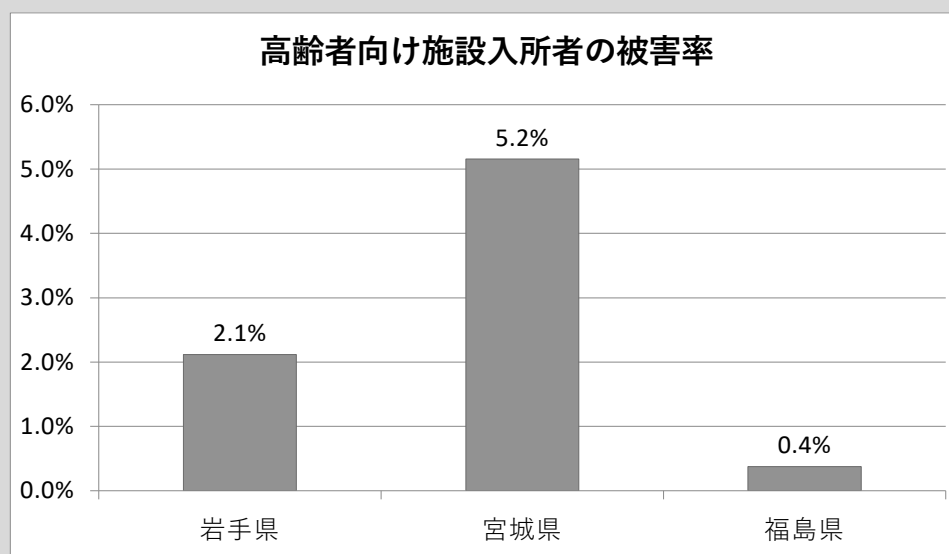
危機管理部局

なぜ宮城県で障がい者がより多く亡くなったのか？

被災した高齢者向け施設  
の割合

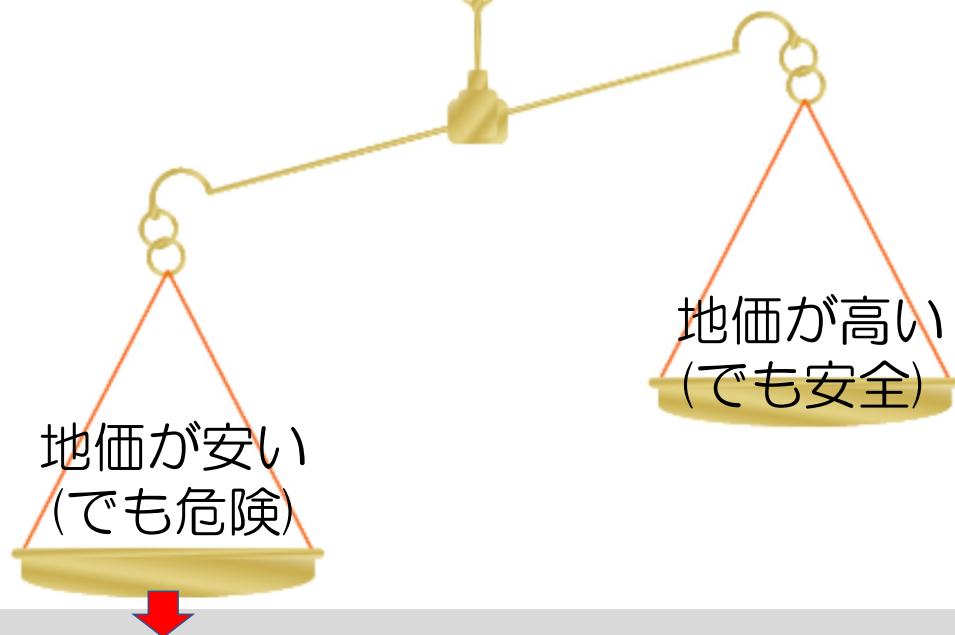
9

## 東北3県の老人向け施設入所者の被害率



10

## 根本原因 #2:危険な場所に施設が立地



土地利用~~規制~~・安全な土地~~への~~誘導策・差別や排除

11

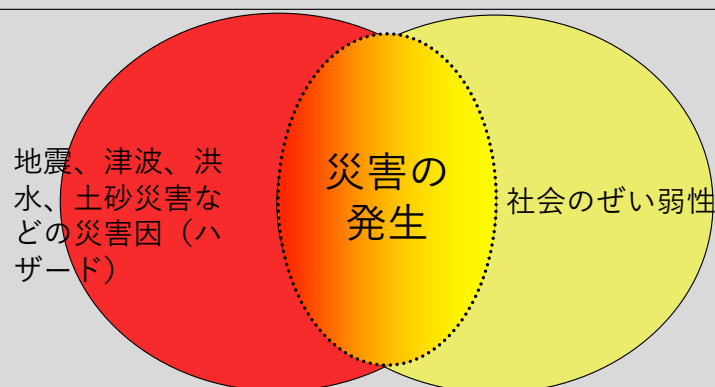
## 根本的解決

平時・災時を切れ目なく  
つなげる  
(防災と福祉の連結)

# 防災の基本的な考え方

## 防災の基本的な視点

災害リスクは社会的に造られる



災害は「社会現象」

# 防災の視点（言いかえると）

災害リスク =  $f_1$ (ハザード, ぜい弱性)



作成: 兵庫県社会福祉士会災害支援委員会

災害リスクは、ハザード（災害因）と  
ぜい弱性の関数である。

# 障がいの社会モデル

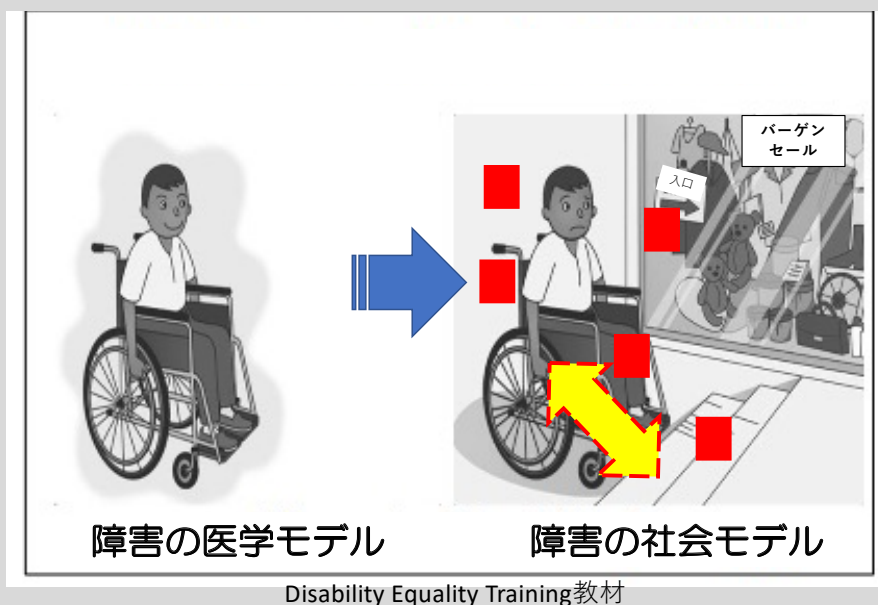


# 障がいとは何をさすのでしょうか？



17

# 障がいは「どこ」にある？

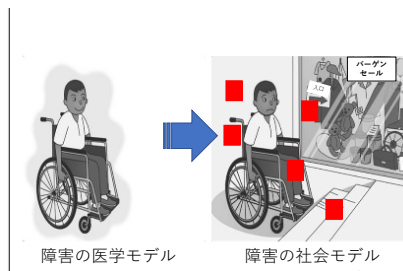


18

# 障がいの社会モデル（言いかえると）

ぜい弱性 =  $f_2$ (主体, 環境)

障害とは「何」?、「どこ」にある?



Disability Equality Training教材

ぜい弱性は、主体の要因と環境の要因の相互作用で決まる。

## 防災の視点と福祉の視点を連結する

災害リスク =  $f_1$ (ハザード, ぜい弱性)

生活（災害を含む）リスク =  $f_1$ (ハザード,  $f_2$ (主体, 環境))

想定浸水深や震度界はどの程度か？

後期高齢者・障がいなどで訪問看護やヘルパーさんに来てもらっているか？発災時に自力避難が可能か？

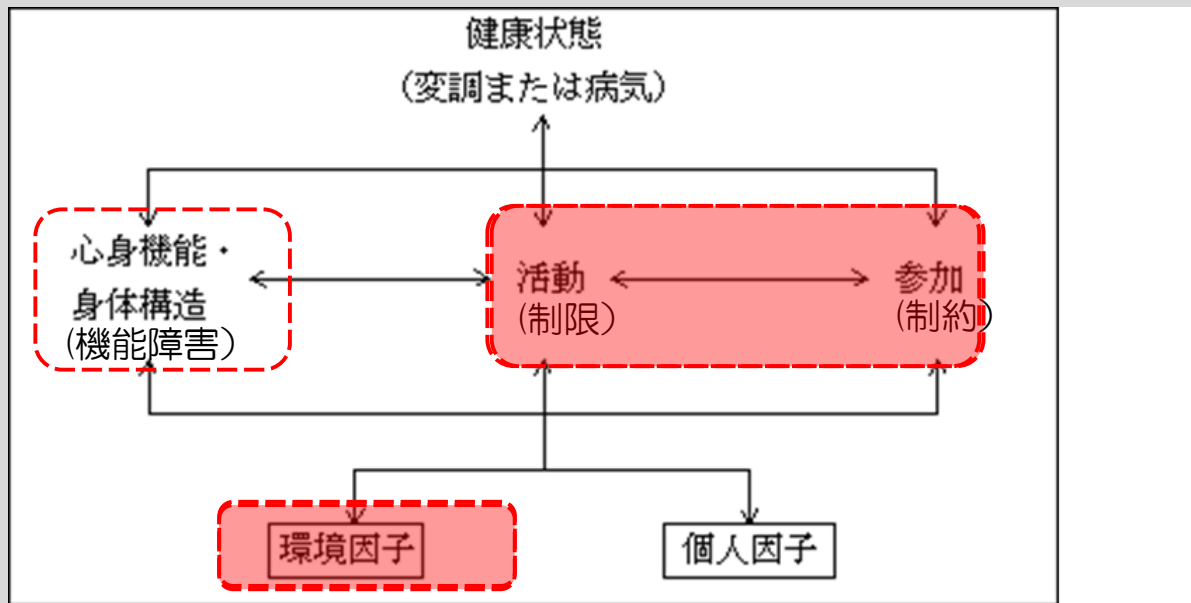
避難支援者がすぐにかつけられるか？

ぜい弱性は関係性の関数

# 障がいのある人にとっての 災害とは何か？

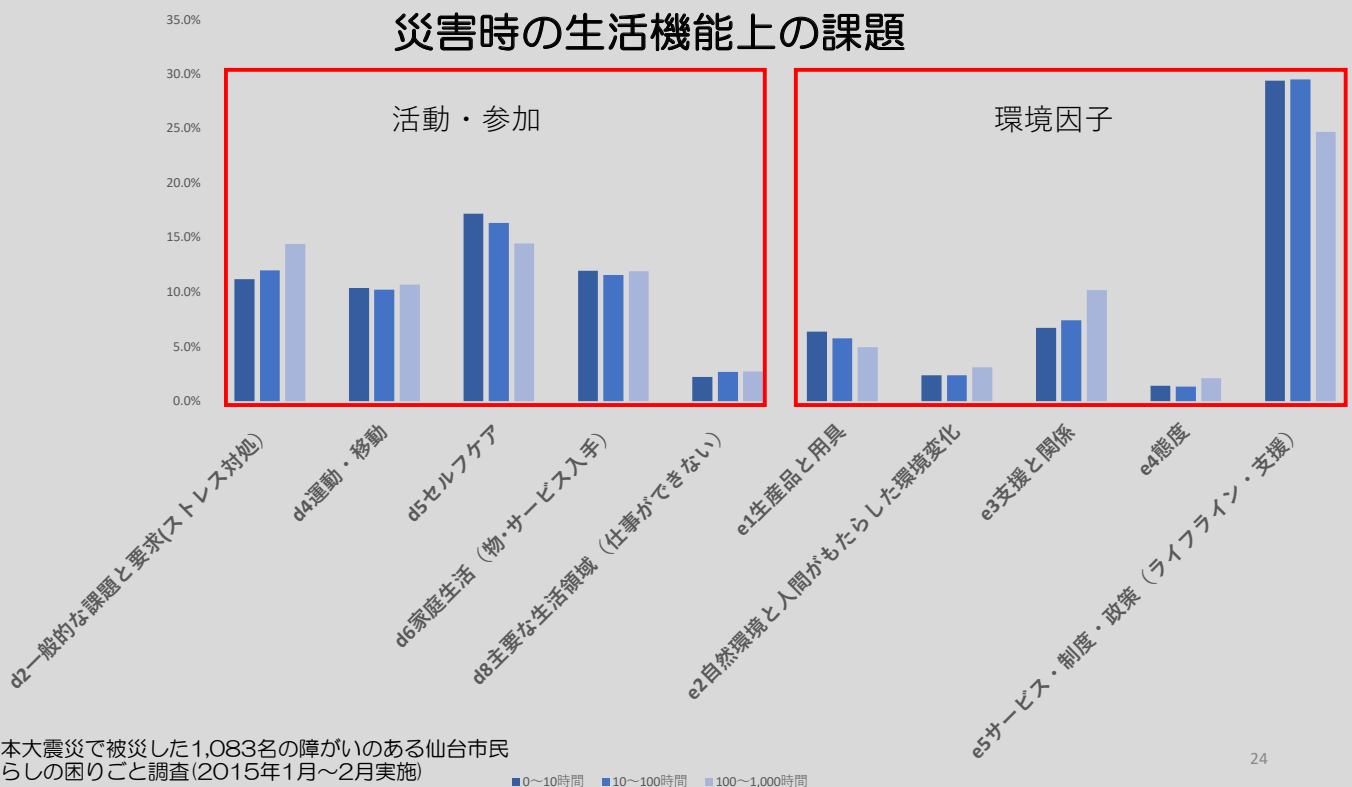


# 国際生活機能分類 (ICF) (WHO, 2001)



WHO (2001)<sup>23</sup>

## 災害時の生活機能上の課題




東日本大震災で被災した1,083名の障がいのある仙台市民の暮らしの困りごと調査(2015年1月~2月実施)

■ 0~10時間 ■ 10~100時間 ■ 100~1,000時間

災害時に障がいのある人が置かれる状況


$$\text{災害リスク} = f_1(\text{ハザード}, f_2(\text{主体}, \text{環境}))$$

災害リスク 

$$= f_1(\text{ハザード}, f_2(\text{主体}, \text{環境}))$$

災害時に障がいのある人が置かれる状況

$$\text{災害リスク} = f_1(\text{ハザード}, f_2(\text{主体}, \text{環境}))$$

災害リスク 

$$= f_1(\text{ハザード}, f_2(\text{主体}, \text{環境の障壁}))$$

災害時に障がいのある人が置かれる状況

$$\text{災害リスク} = f_1(\text{ハザード}, f_2(\text{主体}, \text{環境}))$$



$$\text{災害リスク} = f_1(\text{ハザード}, f_2(\text{主体}, \text{環境の障壁}))$$

誰一人取り残さない防災の基本

# 根本問題#1の根本的な解決策

## 平時の福祉と災害時の防災・危機管理を連結する

福祉専門職が、平時のケアプランに加えて災害時ケアプラン(避難移動編)をつくる

29

### 平時・災害時を切れ目無く連結する別府市の試み

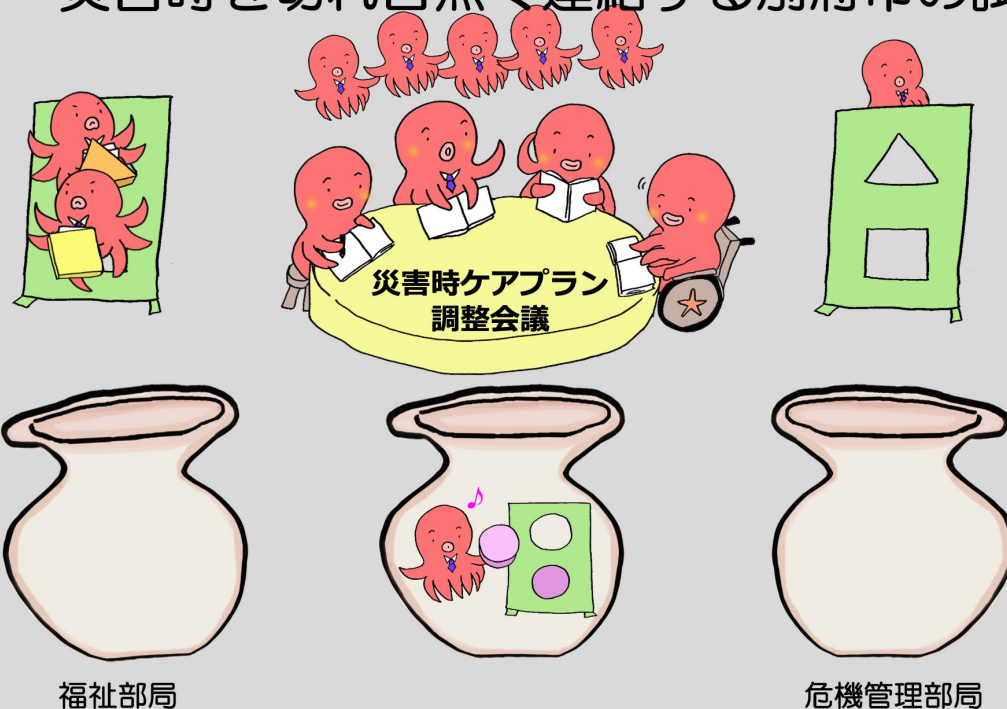


福祉部局



危機管理部局

## 平時・災害時を切れ目無く連結する別府市の試み



だれ一人とり残されない  
ために：当事者力を高める

当事者参画型社会調査 (2016年7月実施)



# 別府市での当事者参画型社会調査 (Community-based Participatory Research) (2016年7月)



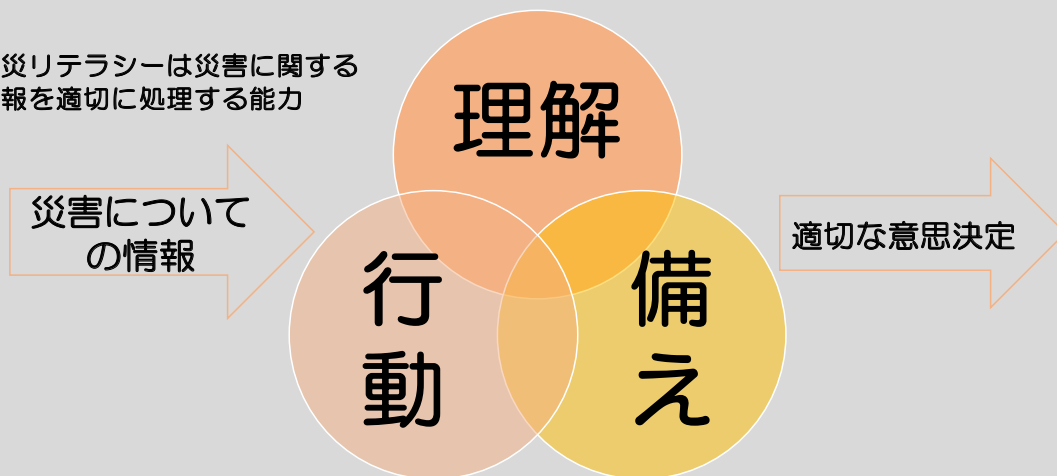
2016年7月4日 項目案作成WS  
於 別府市社会福祉協議会会議室



2016年7月4日 項目案作成WS結果

## 当事者力＝防災リテラシー

防災リテラシーは災害に関する  
情報を適切に処理する能力

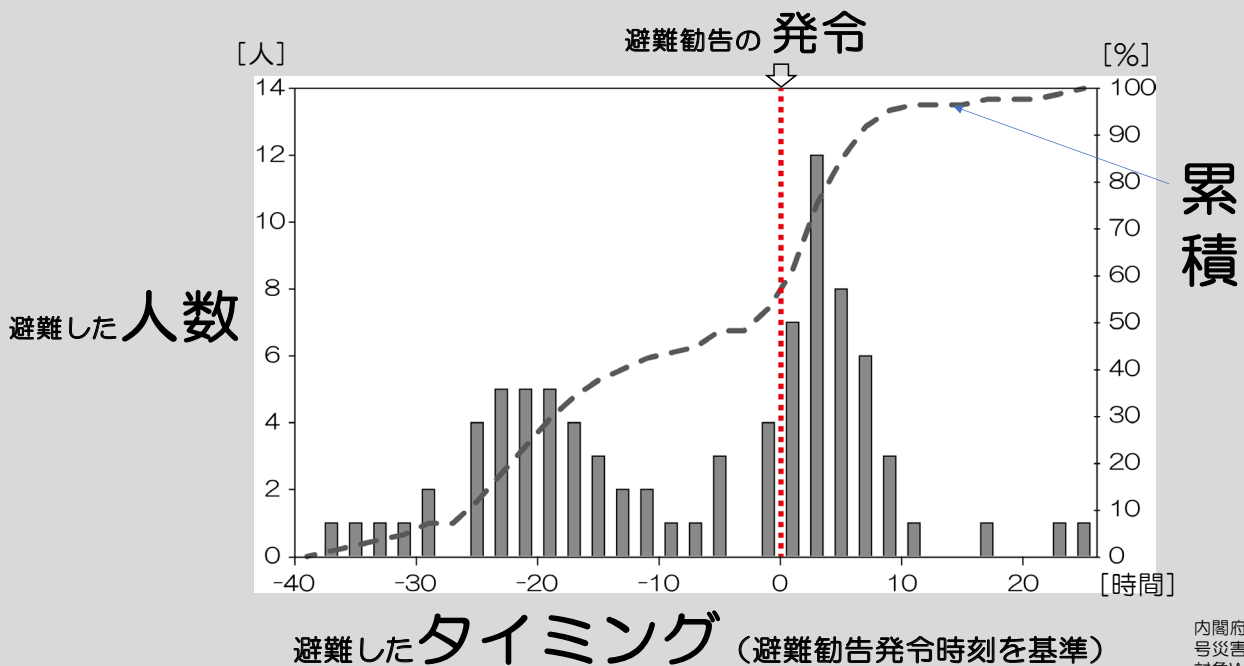


# 当事者力＝防災リテラシー



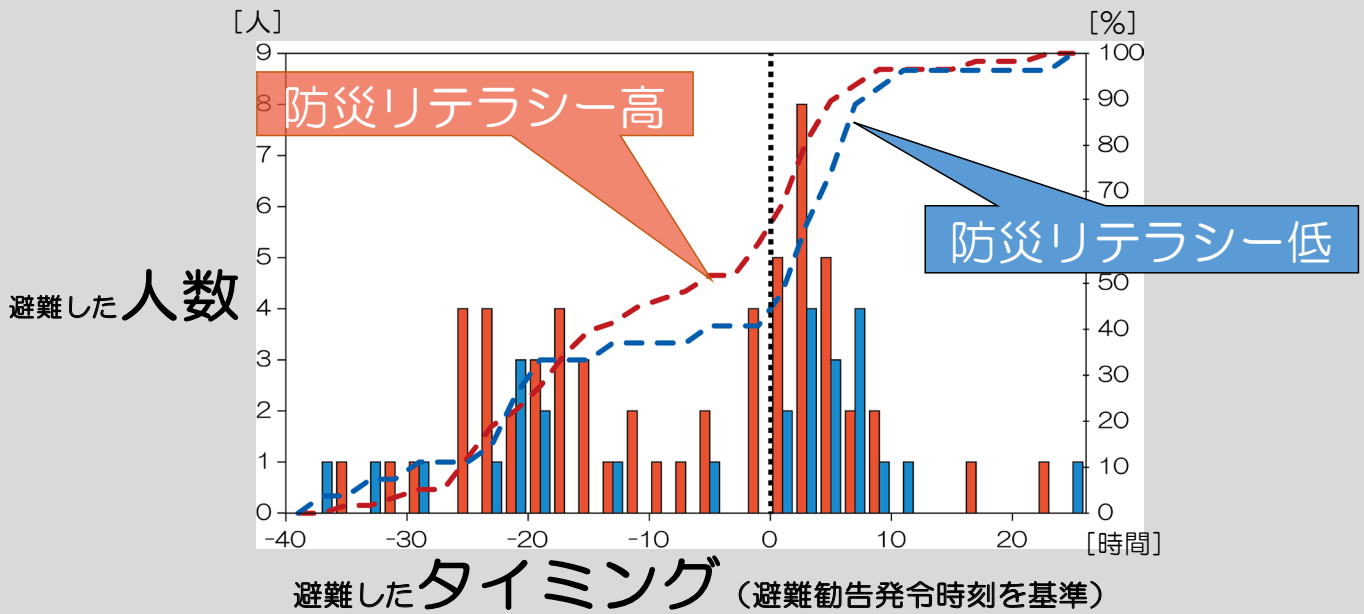
35

## 2019年10月 台風19号における人々の避難時刻分布



内閣府「令和元年台風19号災害被災40市町村住民対象Web社会調査」より

# 防災リテラシー高の人は迅速に逃げていた



ステップ①    ステップ②    ステップ③    ステップ④    ステップ⑤    ステップ⑥

当事者アセスメント

地域力アセスメント

災害時ケアプラン調整会議

プラン作成

プランの確認と  
個人情報共有の同意

インクルーシブ防災訓練での  
プランの検証・改善

個々の当事者力・生活機能上のニーズの事前査定



ポストテスト